



9月の園だより



例年にない大雨を経験し、今年も各地の災害が報道され、毎年のように続く自然の猛威に呆然と立ち尽くす以外に術がないのでしょうか。このような中、新型コロナウイルスの感染は、若い人から低年齢の子どもたちにまで広がり、感染者数の増大が毎日のように報道され、私たちの身近に迫っていることを痛感させられます。

緊急事態宣言の中、ふたば保育園では、幸いなことに現在まで職員、園児共に感染者は一人もでておりません。これも保護者の皆様の健康な生活と見守りのお陰だと有り難く感謝しておりますが、油断できない状況です。

保育園では、子どもたちにとって一日一日を安全で安心して過ごし、かけがえのない楽しい秋を経験できるようにするためには、九月のカリキュラムや行事をどのような組み合わせればよいかを思案している毎日です。出来る限りの感染予防に努め、子どもたちの豊かな生活を整え守りたいと考えております。

赤とんぼの飛来や、ツクツクボウシの鳴き声、夕方からの虫の声に、秋の訪れを感じます。自然からの便りを、心から楽しむことがなかなかできないとは思いますが、少しばかりでも秋を感じ、子どもたち、ご家族の皆様にとって健康で豊かな秋をと願うばかりです。



行事予定

- 10日(金) 避難訓練
- 14・15日(火・水) 身体測定
- 18日(土) 日帰り保育 もりのいえ(5歳児)
- 24日(金) つどいの会



※リトミック(全園児)、英語(3、4、5歳児)、踊り(5歳児)は、12日の緊急事態宣言の期間終了まで、中止とさせていただきます。

おたんじょうびおめでとう

- 6日 O・S くん(5歳)
- 9日 T・S くん(6歳)
- 10日 I・M くん(5歳)
- 14日 Y・S くん(2歳)
- 29日 I・K さん(5歳)



ふたばの夏祭り

夏祭りは、当初1週間の予定でしたが、緊急事態宣言が発出され、急遽23日(月)から25日(水)の3日間に短縮しました。5歳児が法被を着て、「夏祭りが始まるよ」と、南の島のハメハメハの替え歌を歌いながら各クラスをまわり、ふたば夏祭りがスタートしました。子どもたちと一緒に考え作りだした、焼きトウモロコシ、綿菓子などが所狭しと並べられ、2階には子どもたちが楽しめる、ボーリングやヘビヘビパニック、動物迷路などのゲームコーナーなどが設営されました。緑日の会場では「いらっしゃいませ～、～たこやき屋さんですよ、いかがですか～」とお店から子どもたちの活気に溢れた声が響き渡っていました。「明日のお祭りのお店で何を買おうかな」や、「私は、かき氷屋さんで、シロップかけるね」、ゲーム会場では「やった!」「おもしろい!」的当てでは、「真ん中の強い恐竜たおすよ～」の楽しそうな声が聞かれ、毎日ワクワクしていた子どもたちです。3日間のお祭りの締めくくりは皆で盆踊りです。ウィルス吹き飛ばすような子ども達の元気な踊りとかけ声で祭りが終わり、お土産を手にしていました。

短縮し少し心残りがあったかと思いますが、子ども達の素敵な夏の思い出がまた一つ増えたのではと思います。ご家庭では夏まつりについてどのような会話があったのでしょうか?



お知らせ

日々子ども達の活動の様子を毎日、写真で掲示していましたが、しばらくの間、毎週金曜日にその週の子ども様子をまとめて掲示させていただきます。